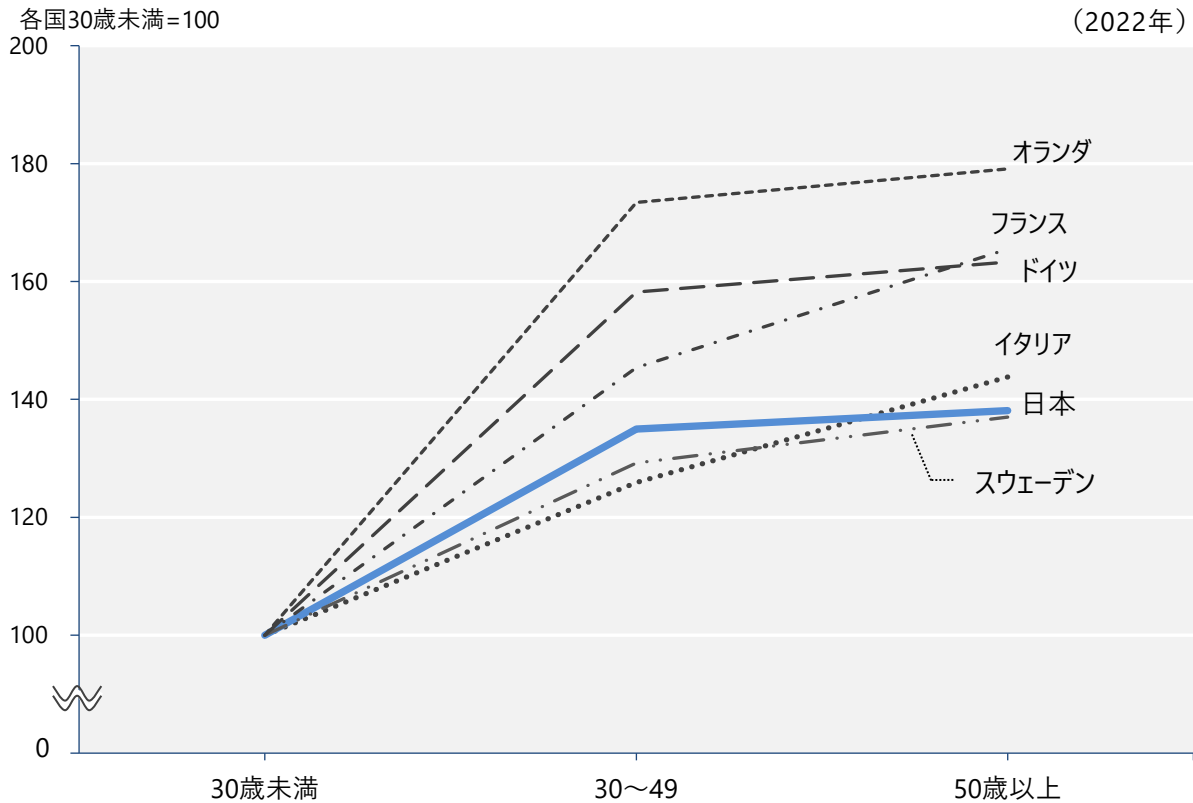


5-3 年齢階級別賃金格差



関連表 p.185 「第5-11-1表 年齢階級別賃金格差（労働者計）」

上のグラフは、30歳未満の賃金を100としたときの各国の年齢階級別賃金指数により、年齢階級間の格差の状況を示したものである。

日本では30歳未満との賃金の格差は、30～49歳層で1.35倍、50歳以上層になると1.38倍へと拡大する。同様に欧州でも、年齢階層が上がるにつれて賃金が上昇しており、とくにオランダでは30～49歳層で1.73倍、50歳以上層で1.79倍と上昇の幅が大きくなっている。

また職種別にみると、年齢階層間の賃金格差は「生産工程従事者」よりも「管理的職業従事者」で大きい傾向にある。「生産工程従事者」では、30歳未満層と30～49歳層、50歳以上層の賃金格差多くの国では概ね1.1～1.3倍程度で、30歳以降ではほぼ横ばいとなるが、「管理的職業従事者」では、30～49歳層でおよそ1.3～1.5倍、50歳以上層では1.6～1.8倍となる国が多い（p.186 「第5-11-2表 年齢階級別賃金格差（生産工程従事者）」、p.187 「第5-11-3表 年齢階級別賃金格差（管理的職業従事者）」）。